

十九

片野の鴨池のガン・カモ



「加賀市、片野の鴨池。多くのカモやガンたちがここで冬を過ごします。水鳥の餌付けなどいっさい行っておらず、ここでは、鳥たちの自然の営みをそのまま見ることができます。」

かいせつ

片野の鴨池は、加賀市の片野海岸より東に1kmほど入った丘陵地にあります。周囲を松林や雑木林に囲まれた広さ1.5㊦の池は秋の稲刈り後には、隣接する湿地にも水が張られ5.5㊦の水域となります。池は昔から水鳥たちの格好の越冬場所であり、平成5年(1993年)には、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されたことで、国際的な注目を集めています。鳥の観察に適しているのは秋から冬で、池を一望できる観察館から鳥たちを間近に観察できます。9月中旬になるとコガモやヒドリガモなどがシベリアから飛来します。10月中旬にはほとんどのガンやカモが勢揃いし、羽を休める鳥たちの声が池に広がります。最盛期の11月下旬～2月下旬には6千羽を超えるマガモをはじめ、天然記念物のマガンやヒシクイが羽を休め、それらを狙うオジロワシやオオタカなどの猛禽類もみられます。3月下旬にガンやカモが北へ帰ったあとも多くの鳥が鴨池周辺を棲み家とし、1年を通じて野鳥の楽園となっています。

